

# お寺でLINEスタンプを作りました！

明日の  
お寺を  
考える

第32回



「LINE（ライン）」という言葉を耳にした、あるいはお使いの方は多いでしょう。

スマートフォンなどで使えるコミュニケーションアプリの一つで、無料で電話やメールが楽しめるのが特徴。2002年6月

のサービス開始以降、若者を中心に世界中で人気を広げ、昨年7月時点でのユーザー数は国内で5200万人、全世界ではなんと五億六千万人に達しました。人気急上昇の背景に「スタンプ機能」があると言われます。

スタンプとは、キャラクターに様々な感情を表現させたイラスト画像。文字を入力しながらもイラスト一つ送信することで、相手に思いを伝えられる手軽さが、ユーザーに喜ばれています。スタンプは十万を超える種類があり、アプリ内で無料もしくは有料（数百円）で提供。多くの人が、複数のスタンプをダウンロードして、コミュニケーションを楽しんでいます。

さて今回紹介したいのは、このスタンプを使つたお寺の取り組みです。千葉県松戸市の大慈院（38歳）がその人。今夏、お寺のキャラクターを使ったスタンプ「クリクリ天ちゃん」（110円）を制作配信！ 「ほっこり」「がんばれ」「安心して」などの言葉と共に、かわいい小坊主キャラクターが表情豊かに描かれ

たスタンプです。

若い人に、日常の中で一瞬でも、仏様との時間を持つて欲しい。その思いから、僕が注目したのが、若い人が日常的に使う「LINE」でした。スタンプは誰でも作ることができます。申請も無料。登録が認められたら、LINEのアプリを通じて配信できます。おかげさまで現時点で五百人の方がダウンロードしてくれています」と西原師。なんともユニークな現代布教。どのように作られたのでしょうか。

## キャラクターを考える

まずスタンプには軸となるキャラクターが必要です。この点、天眞寺にはすでに十年前から門徒さんに親しまれるお寺のキャラクター「天ちゃん」がいました。

「敷居が高いと思われがちなお寺に、少しでも親しみを持ってもらいたい。それで門徒さんと共に考案したのが『天ちゃん』です。お寺には天ちゃんの石像を置き、オリジナル

LTシャツも制作しています」と西原師。なんとテーマソングまで門徒さんが作ってくれたというほどの人気キャラクター。

スタンプのキャラクターには、この「天ちゃん」を採用。制作には友人のデザイナーが協力してくれたそうです。

「法事の時に若い子がいたら、『お寺でもスタンプを作っているよ』と会話の糸口になり、かわいい、と使つてくれます。お経を読んだり、お寺にお参りしたりという経験がない今の若い子に、スタンプを通して少しでも仏様の心を伝えられたならと思います。一人でも多くの人に使って欲しいですね」と西原師。今、第二段も企画中だそうで、期待が高まります。

ぜひ皆さんのお寺でも、檀信徒と一緒に使えるスタンプ制作、いかがでしょうか。

（明日のお寺を考える会）

## デザインとメッセージを作る

スタンプは四十種類のデザインと共に、その画像に合わせたメッセージの作成が求められます。制作ポイントは、できるだけ日常会話で使う言葉や状況を想定したもの。

「急いで生きている若い人、くじけたりした時に、仏様のあたたかい心を伝える言葉を

届けたいと思いました。門徒さんや、フェイスブックなどを通じて、どんな言葉が良いか公募して皆で考えたのです」

制作開始から半年、デザイン完成。LINE社に提出。ところが、一度目は不合格。理由は「理由は宗教的要素が強いということ。仏様のお姿をアレンジした画像などが三つが引つかかりました。『南無阿弥陀仏』などの言葉も使えません」。いかに日常的に用いられるやさしい言葉で制作者の意図を伝えるか。このあたりも、ポイントなのでしょう。

試行錯誤を重ねてついに合格！ 完成したのが今の画像です。ちなみに一回のダウンロードで制作者に入る収入は微々たるもの（天ちゃんの場合は約三十円）ですが、やはりお金にならないところに効果は生まれるのでしょう。実際、反響は上々で、とくに人気の上位三位の画像は「ありがとう」「OK」「おめでとう」というのも、お坊さんキャラクターへ抱くイメージも感じさせて興味深いです。

**鎌倉新書**  
Kamakura Shinsho

〒103-0021  
東京都中央区日本橋本石町4-4-20  
三井第二別館3F

TEL : 03-6262-3522  
FAX : 03-6262-3529  
E-Mail : info@jiin-unei.com

<http://www.jiin-unei.com>

## お寺に役立つ「経営戦略」と「集客イベント」事業の推進

同社は供養業界全般の情報を集約し、供養業界におけるさまざまな企業経営ノウハウを蓄積してきた。その実績を活かし、寺院永続を目的とした「経営戦略」の構築や「集客イベント」の企画・運営をサポートしております。また、寺院運営に役立つメールマガジン「寺院運営研究通信」も配信中。

株式会社 鎌倉新書 明日のお寺を考える会 有志一同